

渡り鳥にとって
重要な自然環境を守る地域の取り組み
について、国内外の専門家を招き
市民シンポジウムを開催します。
渡り鳥を守るために私たちができることを
一緒に考えるイベントです。

渡り鳥が来る自然を守る 地域の活動

Symposium for local activities to conserve migratory birds and their habitats

2015年1月21日(水) 午後1時〜午後3時30分

釧路市観光国際交流センター [釧路市幸町3-3]

入場無料

通訳あり

21 January, 2015 1p.m.~3:30p.m. Kushiro Tourism and International Relations Center / Admission Free

主催：釧路市 共催：EAAFP事務局

問合先：釧路市環境保全課 釧路市黒金町7-5 電話：0154-31-4594 FAX：0154-23-4651

釧路湿原には年間を通じて多くの渡り鳥が飛来します。この渡り鳥を守るためには、鳥たちが経路（フライウェイ）とする道の途中にある生息地を保全する必要があります。現在、たくさんの人たちが釧路湿原の保全活動に携わっており、渡りを行う鳥たちにとって、重要な生息地のひとつとなっています。このシンポジウムでは、渡り鳥と生息地を守るための地域の保全活動について専門家とともに考えます。

プログラム

1. 開会式

主催者挨拶
釧路市長 蝦名 大也

来賓者挨拶
環境省 釧路自然環境事務所 所長 西山 理行氏

2. 提言

鳥たちに選ばれた湿地
ー守って活かす地域の取り組みー
日本雁を保護する会 会長
呉地 正行氏

3. 講演

EAAFP (東アジア・オーストラリア地域フライウェイ・パートナーシップ)
ー釧路宣言から20年ー
東アジア・オーストラリア地域フライウェイ
パートナーシップ事務局長
スパイク・ミリントン氏

4. パネルディスカッション

パネリスト

スパイク・ミリントン氏
リチャード・フュラー氏
呉地 正行氏
百瀬 邦和氏

パネルディスカッション進行

菊地 義勝

5. 閉会

講演者のご紹介

呉地 正行氏

日本雁を保護する会 会長



Mr. Masayuki Kurechi
the President of Japanese Association for Wild Geese Protection

古来から日本人に親しまれながら、現在では限られた場所で見られなくなってしまった雁の保護及び、雁の住める豊かな湿地の保全や復元のため、冬の田んぼに水を張り、新たな雁の生息地と渡りのルートを復元し、それと同時に、雁と水田農業との共生を目指す活動を行っている。

スパイク・ミリントン氏

東アジア・オーストラリア地域フライウェイ・パートナーシップ事務局長



Mr. Spike Millington
the Chief Executive of East Asian - Australasian Flyway Partnership (EAAFP) Secretariat

35年間、20カ国以上の様々な環境問題に取り組む。昨年はワシントンで行われたUSAID (米国国際開発庁) の世界生態戦略策定に尽力。IUCN (国際自然保護連盟) 生態系管理委員会の一員であり、世界中の政府やNGOとともに活動している。

リチャード・フュラー氏

オーストラリア・クイーンズランド大学准教授



Dr. Richard Fuller
An Associate Professor at the University of Queensland in Brisbane, Australia

人間が自然界に与える影響について研究。研究プロジェクトでは「なぜアジアの渡り性水鳥がこんなにも早く減っているのか、減少を止めるためには何ができるのか」について調査をしている。詳しい研究内容は下記HP。
<http://www.facebook.com/fullerlab>

百瀬 邦和氏

タンチョウ保護研究グループ理事長



Mr. Kunikazu Momose
the President of Red-crowned Crane Conservancy

タンチョウの生息数や生息環境等の生態調査を継続するとともに、タンチョウの現状を広く伝え、問題提起を行なうなどの社会活動に積極的に取り組んでいる。2014年11月には、ドイツで行われたIUCN/WIツル専門家部会の運営委員会に出席し、発表を行った。詳しくは、下記のNPO法人タンチョウ保護研究グループHP。
<http://www6.marimo.or.jp/tancho1213/index.html>

菊地 義勝 〈パネルディスカッション進行〉

釧路市環境保全課湿地保全主幹



Mr. Yoshikatsu Kikuchi
Technical Officer of Environmental Department of Kushiro City Hall

釧路湿原をはじめとして地域に広がる湿地や自然環境を保全するため、行政と民間が連携した活動が重要と考えている。釧路国際ウェットランドセンターの活動もそのひとつとなっている。
<http://www.kiwc.net/>